

Functional interleukin-33 receptors are expressed in early progenitor stages of allergy-related granulocytes

續, 啓史

<https://hdl.handle.net/2324/1806898>

出版情報：九州大学, 2016, 博士（医学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（2）

氏 名： 續 啓史

論 文 名： Functional interleukin-33 receptors are expressed in early progenitor stages of allergy-related granulocytes
(アレルギー関連の骨髄球系前駆細胞は機能型の IL-33 受容体を発現する)

区 分： 甲

論 文 内 容 の 要 旨

【背景】 IL-33 は、Th2 細胞や B 細胞等の獲得免疫に依存する従来型のアレルギー性炎症と、獲得免疫系に依存しない自然免疫型のアレルギー性炎症の双方において、重要な役割を担っている。IL-33 反応細胞は多岐に渡り、成熟細胞だけでなく、幼弱な血液細胞（血液前駆細胞）も IL-33 に反応することが示され、アレルギー性炎症に寄与していると考えられている。しかし、IL-33 受容体が血液細胞のどの分化段階で発現し、IL-33 がどのように、これらの前駆細胞を制御しているのかについては不明であった。

【結果】本研究では、機能型の IL-33 受容体が、好酸球前駆細胞、好塩基球前駆細胞、肥満細胞前駆細胞の分化段階で発現することを明らかにした。また、IL-33 がこれらの前駆細胞を刺激して、アレルギー関連サイトカイン（Th2 及び炎症性サイトカイン）の産生を誘導し、IL-5 依存的に、好酸球前駆細胞の段階から好酸球増多を誘導することを明らかにした。【結論】これらの前駆細胞は、IL-33 誘導性の炎症において、アレルギー関連サイトカイン及び顆粒球（好酸球・好塩基球・肥満細胞）の供給源として機能している可能性がある。